8/7 全国野球大会準優勝 おめでとうございます

喜連川中2年石田陽人さんが所属する県央宇都宮ボーイズが第５２回日本少年野球選手権大会と第15回全日本中学野球選手権大会の県予選で優勝し、全国大会へ出場しました。

石田さんは、8月2日～7日まで大阪府で行われた全国大会に内野手（ショート）として出場。決勝戦の7回表にバックホームで２度ランナーをアウトにするなど活躍されました。

今後の活躍を期待しています。

決勝の舞台大阪シティ信用金庫スタジアムにて

6/24 感謝状を贈呈しました

地域連携推進員として市と市民とを結ぶと同時に協働のまちづくりに多大なるご尽力を賜りました方に対し、市長から感謝状を贈呈しました。

在職 10 年（左）
宍戸宣義（ししどのぶよし）さん（上野行政区）
在職５年（中央）
大橋克世（おおはしかつよ）さん（鍛冶ケ澤行政区）
在職５年（右）
猪瀬哲二（いのせてつじ）さん（本町行政区）

6/23 新型コロナウイルスのワクチン輸送容器を寄贈いただきました

鹿沼市に本社を置く株式会社カルックス様から、市に新型コロナウイルスのワクチンを輸送するための発泡スチロール容器を寄贈いただきました。

森田社長からは「さくら市のワクチン接種の手助けになれば幸いです」と温かい言葉をいただきました。

ワクチン接種が円滑に行えるよう活用させていただきます。ありがとうございました。

6/15 宇都宮大学生による高齢者向けスマートフォン講座

宇都宮大学地域デザイン科学部と市が共同で地域課題解決に取り組む「地域プロジェクト演習」の一環で、学生５名が高齢者のデジタルニーズや現状を知るために、市内で高齢者向けのスマートフォン講座を行いました。定員を大幅に越える申込があり、当日は約 20 名の高齢者が参加しました。

参加者は、「知らない便利な機能を学べた。学んだことを自宅でもできるよう復習したい」と話されました。

発見！さくらキラ人

さくら市で輝く人を紹介するコーナーです。

大房（おおふさ）　建斗（けんと） さん

氏家中出身で作新学院高校3年の大房さんは、硬式野球部に所属し、今夏の甲子園に出場しました。県予選大会では、3番サードとしてレギュラー出場し優勝に大きく貢献。春の大会・夏の大会と優秀選手に選ばれるなど、攻守ともにチームに欠かせない存在です。父と兄の影響で5歳からキャッチボールを始めたそう。小学生の頃にテレビで見て憧れていた甲子園出場の夢を見事に叶えました。

大房さんは、「先輩たちの想いを受け継いだ2年ぶりの甲子園出場なので嬉しい。昨秋、今春と関東大会出場が掴めず悔しい思いをしてきた。今春、関東大会出場の切符を掴んだが、大会直前に練習試合で骨折してしまった。どうしたらいいのかわからない時もあったが、見返したいという思いで本気で練習に励んできた全員の成果だと思う。」と話されました。

Pick up

6/30 第71回“社会を明るくする運動”内閣総理大臣メッセージ伝達式

塩谷保護区保護司会さくら支部の内藤支部長が内閣総理大臣からのメッセージを読み上げ、市長に手渡しました。

内藤支部長は、「さくら市更生保護女性会や塩谷地区ＢＢＳ会、さくら市等の関係者と連携し、再犯防止と犯罪未然防止活動を市民の皆さまと推進していきたい」と話されました。

犯罪や非行のない地域づくりには、市民の皆さんの“力”が必要です。本運動へのご理解とご協力をお願いします。

6/26 河戸わくわくネット協議会が発足しました

市内初となる「地域運営組織（小さな拠点）」が河戸地区に誕生しました。地域運営組織とは、地域の暮らしを守るため地域の人々が中心となって課題解決に向けた取組みを持続的に実践する組織のことです。「地域住民が活動・交流を行う場所づくり」や「高齢者サロンの開催」「地域の祭りの開催(ごじゃっぺ祭)」などを実践していきます。

河戸わくわくネット協議会のような組織が市内各地に広がることが元気なさくら市を形成することに繋がるため、市も設立を応援していきます。

7/6 押上小5年生が蒲須坂農根の会と環境保全活動を行いました

田畑や河川の景観・生態系保全などを行っている「蒲須坂農根の会（大久保睦会長）」と押上小学校の5年生が、蒲須坂の土水路「オッケ堀」で川魚を放流したり、水路脇の土手にヒガンバナの球根を植えたりしました。最後に、事務局長の髙柳勝三さんのハーモニカの音色に合わせて、みんなで「故郷」や「どじょっこ ふなっこ」を合唱しました。

髙柳さんは、子どもたちが自然環境や生態系を守り、自然と共に生きていくことの大切さを考える機会となればと話されました。

6/30 「家庭の日の普及啓発に関する協定」を締結

市と高根沢さくら倫理法人会（仲澤佳子会長）は、「家庭の日の普及啓発に関する協定」を締結しました。

この協定に基づき、双方が連携・協力し「家庭の日」の普及啓発を推進していきます。

※家庭の日とは、家族が一緒に過ごし、家庭の大切さについて考えるきっかけとする日です。栃木県では毎月第3日曜日が家庭の日とされています。

7/14 クロームブックの本格運用（小中一貫教育）

喜連川中学校で行われた小中一貫教育の推進を目的とした英語、理科、社会の授業を、小中学校の先生方と、市長・副市長・教育長が参観しました。

生徒に1人1台配置されているクロームブック（パソコン）を用いて、考えをまとめたり、意見を伝えあったりしました。タッチパネルでパソコン画面を自在に操作する様子や、文字入力の速さから、日頃の学習でクロームブックを活用していることがうかがえました。夏休みはクロームブックを各家庭に持ち帰り、宿題に取組みました。

7/9 祝・熟田小学校創立150周年記念式典

式典には、170名の児童・教職員と、市長・教育長・実行委員が参加し、厳粛な中、開催されました。

昔の写真をスライドショーにして上映したり、記念品贈呈が行われたりしました。最後に、6年生の高垣莉央さんが、「先輩から受け継いだバトンを次へ渡していきたい」と児童を代表して立派に発表しました。

式典後の記念コンサートには副市長も参加し、楽しい時間を過ごしました。また、熟田小同窓会一同から新しい校旗が贈呈されました。

発見！さくらキラ人

さくら市で輝く人を紹介するコーナーです。

大塚（おおつか）　盛行（しげゆき） さん

さくら市消防団の第3分団長を務める大塚さん。普段は、農事組合法人上松山で米、麦、大豆と蕎麦、家族でニラを栽培・出荷しています。20歳に消防団へ入団した大塚さんは今年で勤続14年目。今年から分団長に就任し、地域のために日々活動しています。

大塚さんは、「消防団は大変なこともありますが、火事や災害に対する知識や対策などを学べるのが魅力のひとつです。自分の家族や友人を守るのに役立つし、予防にもつながります。農業では、自分で種から栽培して数か月管理したあとに収穫した作物を食べた人から『美味しい』と言ってもらえるのが嬉しいです。やっていてよかったと思いますね。」と話されました。

農作業の合間に取材に応じてくれた大塚さん。水田をバックにかっこよくポーズを決めてくれました。

Pick up

7/20 30 医療従事者の方々へ感謝の品を贈呈しました

新型コロナに最前線で立ち向かう市内の医療機関の方々に、農産物の詰め合わせを贈呈し、感謝の意を伝えました。

贈呈した農産物は、地元産の米（コシヒカリ）、もち絹香（もち麦）、旬の野菜（枝豆、トマト、トウモロコシ）、しいたけ、味噌等です。

市長は、市内医師団長である岡医院長と歯科医師会長である塩野歯科医院長に感謝の言葉を伝えました。

7/19 「ちゃぐりん」贈呈式

塩野谷農業協同組合から、JAグループの小学生向け食農教育誌「ちゃぐりん」8月号を全小学5年生の児童に寄贈いただきました。

「ちゃぐりん」は毎月号、全小学校に寄贈いただいており、学校図書館に置かれ多くの児童に読まれている雑誌です。

贈呈式には大澤常務理事、教育長が出席し、いただいた雑誌は小学校を通じて児童に配布されました。ありがとうございました。